

景況感は大幅改善するも、消費マインドは依然低迷

熊本の今後半年間の消費予報【要約】

今回の調査では、消費予報の指標としている「景気」、「暮らし向き」、「支出意欲」、「収入」の4項目の“見通し”のうち「景気」に大幅な改善が見られ、「暮らし向き」、「収入」もやや改善した。しかし「支出意欲」は4項目の中で唯一前を下回り、他の3項目とあわせてみると、景気の回復感と生活での実感とは大幅な隔りがあることがうかがわれる。

項目別にみると、「景気の見通し」D.I.は28.9ポイントの大幅上昇で6.9となった。前回4項目の中で最も低かった「暮らし向きの見通し」D.I.は3.9ポイント上昇して34.2となり、唯一4.0ポイント低下した「支出意欲」D.I.が40.6となった。また「収入の見通し」D.I.は4.8ポイント上昇の20.7となり、改善傾向を維持した。

景況感が回復し、収入や暮らし向きに改善傾向がみられるが、将来の年金、医療等の社会保障費の負担増や、年金受給への不安などが強く、消費の先行きはしばらく厳しい状況が続くと思われる。



1 消費予報の読み方

本調査では、消費マインドに影響する『景気』と『暮らし向き』と『支出意欲(支出の引き締め)』に対する意識、実際の消費に関わる『収入』の増減の、4つの項目について今後半年の見通しを質問している。数値(D.I.)は、「良くなる(増えそう、緩める)」と回答した人の割合(%)から、「悪くなる(減りそう、引き締める)」と回答した人の割合(%)を引いて算出した[数値の算出方法の詳細は、次頁以降の項目ごとに説明]。4つの項目と『支出』から総合的に判断し、熊本の消費の予報を試みた。

【調査概要】

調査対象：熊本市在住の20代から60代

の女性モニター500人

(有効回答468人)

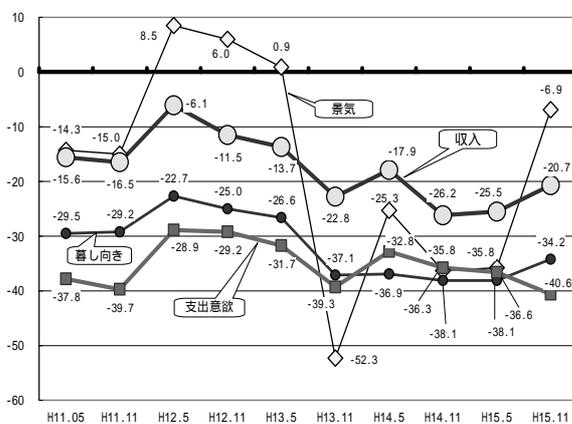
調査時期：平成15年11月

調査方法：郵送法

回答者の属性

年齢	実数	%
20代	88	18.8
30代	87	18.6
40代	94	20.1
50代	98	20.9
60代	101	21.6
合計	468	100.0

【今後の見通しD.I.の推移】



景気の見通し

今後半年間の景気の見通し D.I.は 6.9 となり、前回調査での 35.8 から一転して大幅改善となった。景気が「やや良くなる」は 9.0 ポイント増える一方で、「やや悪くなる」、「悪くなる」が大幅に減り、景気への不安が後退したことがうかがえる。

【景気の見通しD.I.】

D.I.=（「良くなる」+「まあ良くなる」）-（「悪くなる」+「やや悪くなる」）

↑ 	今回		前回 (H15.5)	前々回 (H14.11)
	(H15.11)	前回比		
全体	6.9	+28.9	35.8	36.3
20代	2.3	+22.1	24.4	28.3
30代	14.0	+17.7	31.7	38.3
40代	10.6	+19.4	30.0	26.2
50代	2.2	+49.9	47.7	43.7
60代	9.2	+35.2	44.4	41.7

暮らし向きの見通し

暮らし向きの見通し D.I.は、やや改善して 34.2 となったが、「収入が減っているのに税金・保険料などの社会保障費の負担や教育費は増える一方だから」との意見が依然多い。可処分所得の減少で生活に余裕がなくなり、今後も暮らし向きの見通しは低い水準で推移していくものと思われる。

【暮らし向きの見通しD.I.】

D.I.=（「良くなる」+「まあ良くなる」）-（「悪くなる」+「やや悪くなる」）

→ 	今回		前回 (H15.5)	前々回 (H14.11)
	(H15.11)	前回比		
全体	34.2	+3.9	38.1	38.1
20代	12.6	+10.7	23.3	25.4
30代	40.3	+3.0	43.3	30.3
40代	42.6	+8.2	50.8	42.9
50代	38.6	+4.8	43.4	48.9
60代	36.4	4.5	31.9	39.7

支出意欲（支出の引き締め具合）

今後支出を緩めるかどうかをみる支出意欲 D.I.は 40.6 で、4 項目中ただひとつ悪化した。20 代でも「将来に備えて貯蓄するため」という意見が多く、「収入が減る（伸びない）一方で、社会保障負担などは今後とも増えるから」といった回答が各年齢層を問わず多くみられた。依然として支出を引き締めようとする傾向が強く、景気回復感とは大幅な隔たりがうかがわれる。

【支出意欲D.I.】

D.I.=（「緩める」+「少し緩める」）-（「少し引き締める」+「引き締める」）

→ 	今回		前回 (H15.5)	前々回 (H14.11)
	(H15.11)	前回比		
全体	40.6	4.0	36.6	35.8
20代	43.3	14.4	28.9	29.9
30代	55.2	2.1	53.1	43.1
40代	53.2	9.5	43.7	46.4
50代	38.2	+2.2	40.4	42.5
60代	16.0	+2.8	18.8	18.4

収入の見通し

今後半年間の収入見通し D.I.は 20.7 で、前回は小幅上回り、回復基調にある。

収入見通しは D.I.では改善しつつあるが、収入増を見込む回答はまだ少ない。加えて社会保障費の負担などへの先行き不安から、支出意欲の見通しがより厳しいものになっているとみられる。

【収入の見通しD.I.】

D.I.=「増えそう」-「減りそう」

→ 	今回		前回 (H15.5)	前々回 (H14.11)
	(H15.11)	前回比		
全体	20.7	+4.8	25.5	26.2
20代	4.6	+9.8	14.4	13.5
30代	15.1	+7.8	22.9	20.9
40代	22.6	0.1	22.5	25.6
50代	32.7	+11.1	43.8	43.7
60代	26.0	2.4	23.6	24.6